

地域医療部



地域医療部長
秋山 祐一



地域医療連携室長
瀬田 公一

□ 高齢社会における医療・介護の政策全体としてのパラダイムシフト

日本医師会の医療政策会議報告書「高齢社会における経済的・文化的・医学的パラダイムシフト」が平成28年3月に公表されました。高度急性期・急性期・回復期・慢性期を医療の人材、保健の人材、介護の人材のネットワークと施設のネットワークを地域にどのように形成してゆくかのパイロット研究や実例や提言、問題点が報告されています。

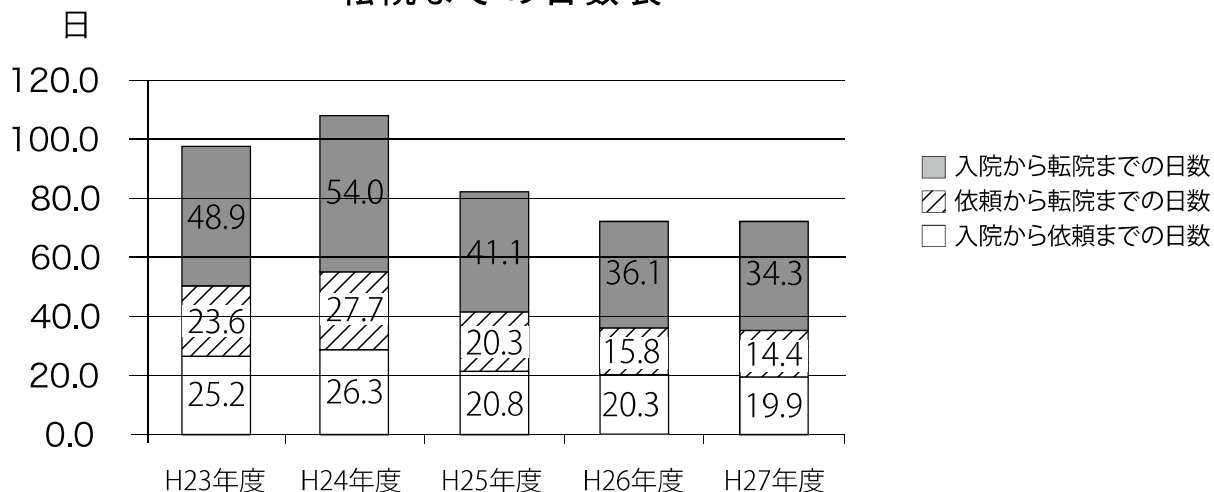
これは現在進行中の地域医療構想の策定にリンクし地域包括ケアの実態を確定してゆくのが今後の地域医療の課題と考えられます。京都医療センターの使命は癌治療、免疫難病の治療、あらゆる分野の高度な手術、冠動脈を中心とした緊急のカテーテル検査・治療、脳梗塞の超急性期治療、多発外傷など医療資源を集中的に投入する医療を中心にさらに整備されてゆきます。高齢者で糖尿病・心筋梗塞の慢性期治療中に見出された治療可能な進行癌など、複合的問題をかかえた高齢者を支える中心の施設と考えています。京都府医師会では「高齢者の在宅・施設での看とり」について平成27年3月にまとめられた報告書をベースに昨年からは実践セミナーが活発になされています。地域連携室は切れ目ない医療のつなぎの要として、患者・家族の気持ちに沿った可能なかぎり迅速な対応が大切であると考えています。

地域医療部長 秋山 祐一

□ 地域医療連携室

京都医療センターの急性期病院としての役割を果たすための方策のひとつとして、転院支援を円滑にすることを目標に挙げて取り組んできました。その結果、グラフのように転院までの日数、特に連携室に転院調整依頼がおりてきてから転院するまでの日数が短くなりました。

転院までの日数表

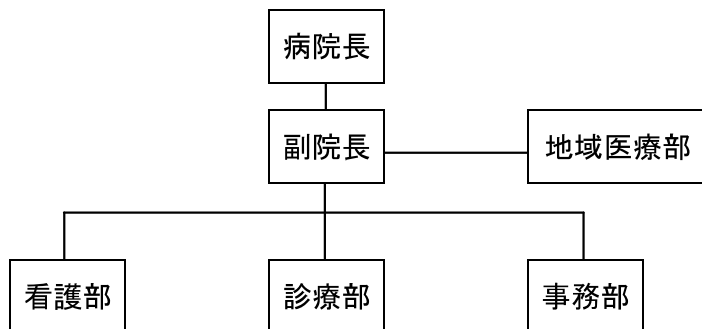


□ スタッフ

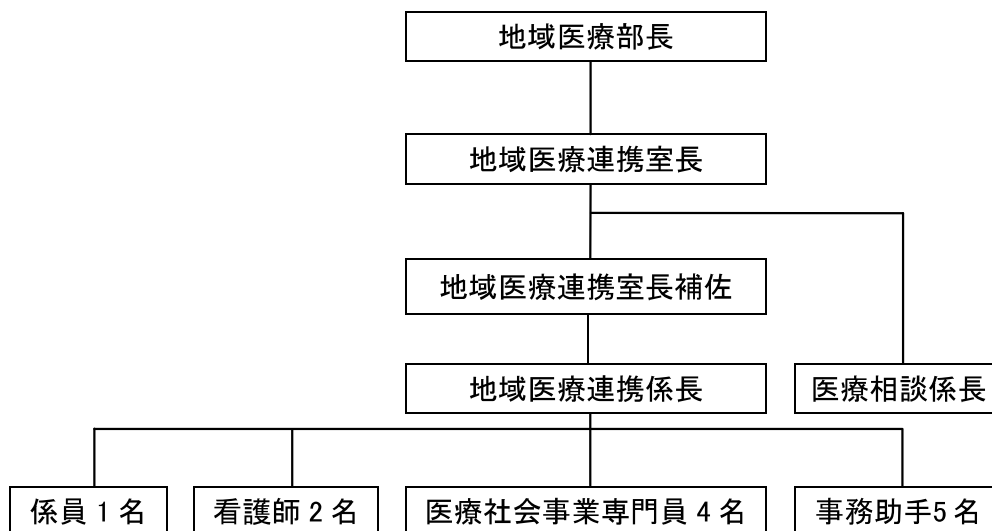
地域医療連携室長補佐・経営企画室長	西川 祐史
地域医療連携係長・病床管理師長	小林 美保
看護師	杉本 明美
看護師	井上 綾乃
医療社会事業専門員	宅間 親恵
医療社会事業専門員	長田 沙友梨
医療社会事業専門員	弘中 孝佳
医療社会事業専門員	吉岡 孝師
地域医療連携係	山下 千覚
事務	丸本 志帆
事務	沖中 直子
予約担当	諸木 真知
予約担当	前田 恭代
予約担当	長谷川 伶奈

1. 沿革と体制

- 2002年 地域医療連携室設置
- 2007年 地域がん診療拠点病院の指定
- 2008年 地域医療支援病院の承認



構成メンバー



2. 地域医療連携室の日常活動

〈前方連携〉

- 診察・検査事前予約
- 救急紹介受診の受付と手配
- 開放型病床のデータ管理
- 紹介患者の返信確認と入退院の情報提供

〈後方連携〉

- 退院支援(転院・在宅)
- 後方支援機関との連携の強化
- 後方支援機関への紹介患者

〈相談〉

- 療養上の相談や受診についての相談
- 経済的問題の解決
- 各種制度(介護保険・障害者医療など)の相談

〈広報〉

- 外来担当表等の発送
- 広報誌『うづら便り』の発送
- 医療連携フォーラムの開催
- 各医療機関への訪問

3. 業務実績(2015年実績)

地域医療連携室経由予約件数 診療予約8,894件 検査予約1,254件
1日平均予約件数41.8件

相談件数9,970件 転院支援実績698件

転院支援実績在院日数34.3日 地域連携診療計画管理料適用患者数137件

救急受診受付746件 救急受診受入後入院件数355件

セカンドオピニオン相談件数185件 セカンドオピニオン実績件数43件

紹介率68.2% 逆紹介率88.3% 開放型病床登録医数129件

地域医療連携委員会 1回/月

地域支援病院運営委員会 四半期1回

院内発表

平成27年11月 18日(火)

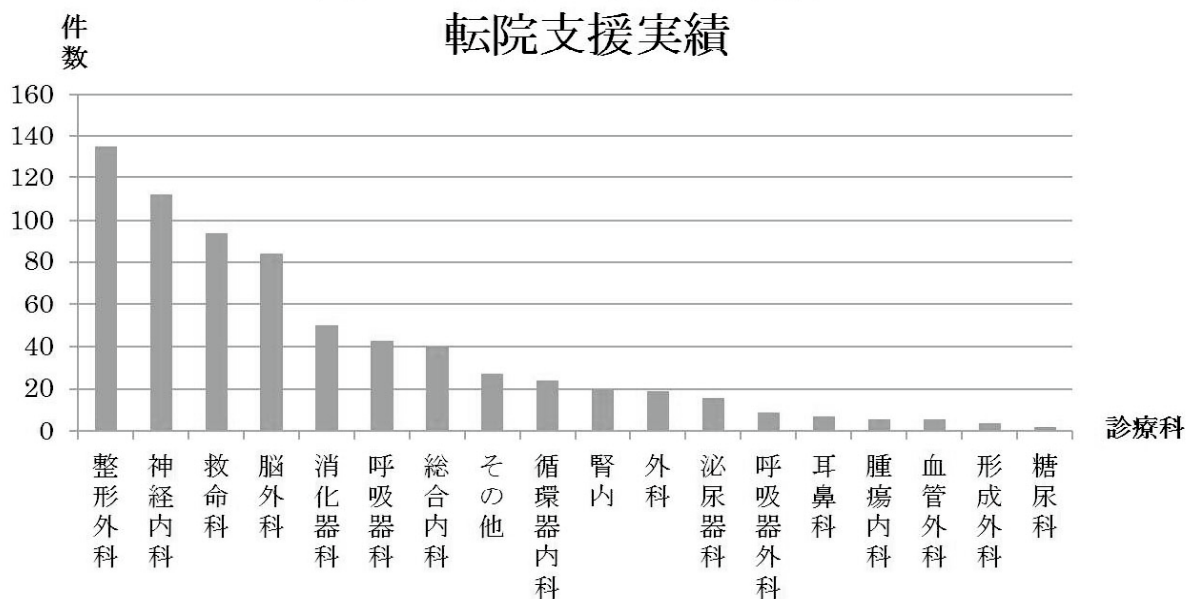
第12回訪問看護師交流会「高齢者支援の現状と課題」～M S Wの立場から～

平成28年2月 20日(土) 成果発表会

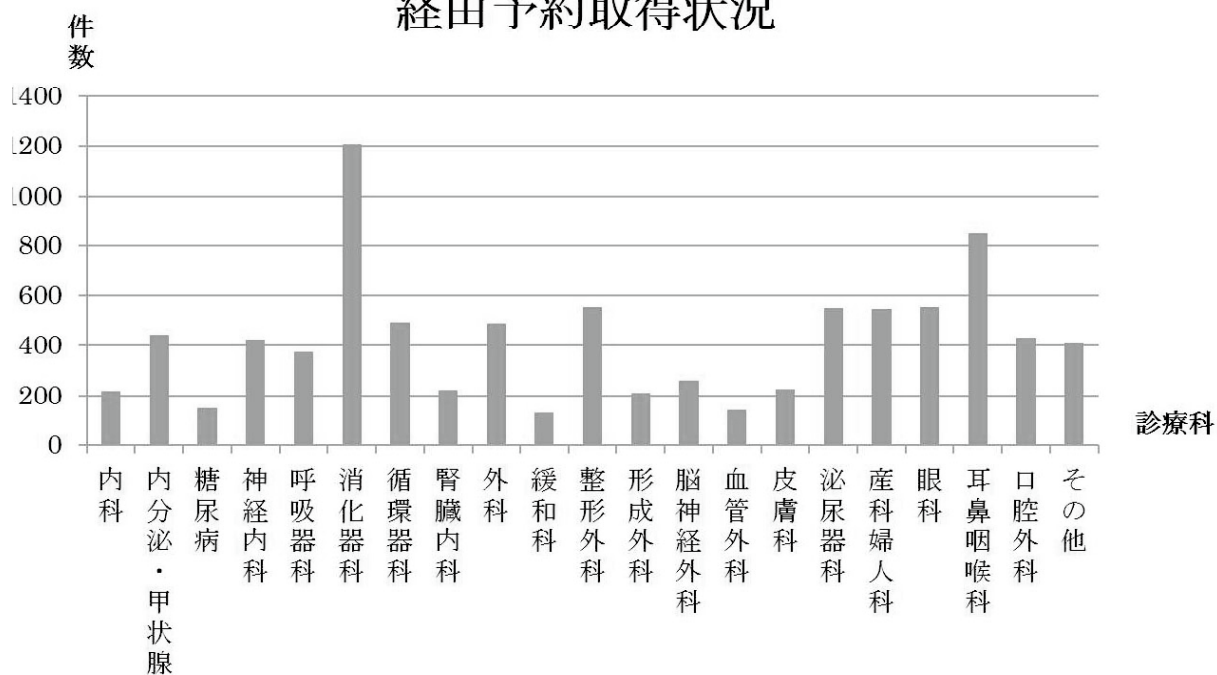
「在院日数の更なる短縮に向けて」 口述

「円滑な地域医療連携の推進に向けた取組み」 ポスター

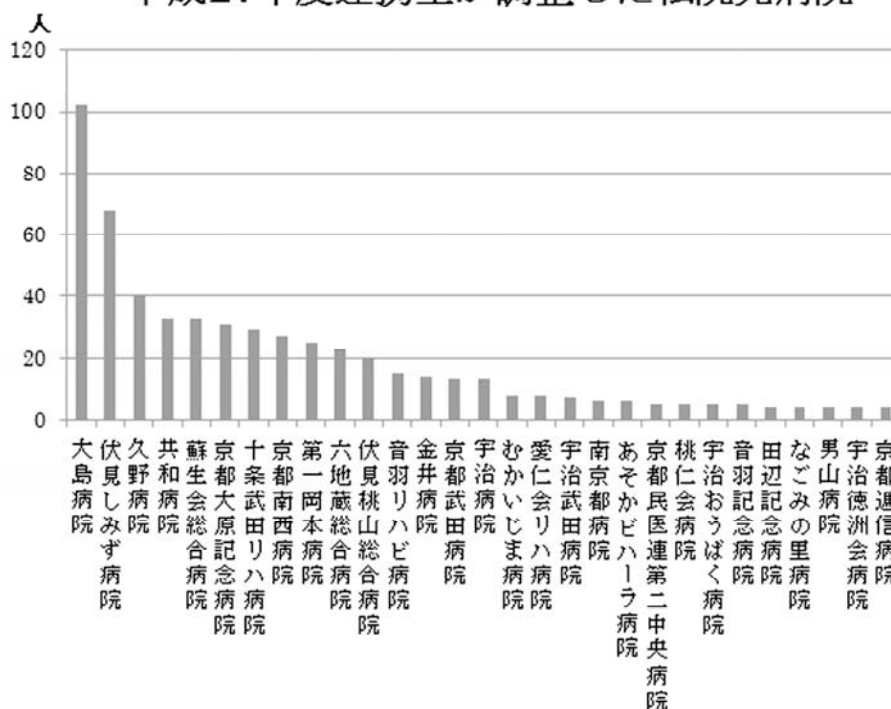
平成27年度地域医療連携室 転院支援実績



平成27年度地域医療連携室 経由予約取得状況



平成27年度連携室が調整した転院先病院



平成27年度連携室が取得した紹介予約患者数 (病院)

